



発行所 神奈川県保険医協会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSプラザビルディング2階)
電話045-313-2111(代表) F A X 045-313-2113 横浜中央郵便局私書箱第319号
購読料 一部300円(会員の購読料は会費に含まれています) 発行人 園田栄太郎



山崎議員

12.12国会行動

「保険証のこせ」署名 県内紹介議員13名に

全国では過去最多の150名超へ

12月12日、協会は緊急国会行動を実施。二村副理事長のほか藤田理事・小柳評議員が参加した。5名の議員のほか、2名の議員秘書と懇談を行った。

この日は「保険証のこせ」署名の最終提出日で、笠浩史・山崎誠・佐々木奈保美各議員が紹介議員を受諾。3千439筆の署名を提出した。協会が取り付けた紹介議員数は13名に上り、全国の紹介議員数は150名を超える見込みだ。※◎は今回初懇談。

利用率の低空飛行を指摘

山崎議員(衆・立憲)は前回に続き「保険証のこせ」署名の紹介議員を受諾。署名の束を前に「声をしっかり届けたい」とした。マイナ保険証を押し進める政策については「未だに利用率が低迷しているのに、なぜこんなにも意固地に」

山崎誠議員

「保険証と並行すればいい話」と批判。党としても引き続き健康保険証復活を訴える姿勢を改めて示した。

国民の置きざりを憂慮 周知不十分は不安を煽る

佐々木奈保美議員

新たに署名の紹介議員となった佐々木議員(衆・立憲)は、従来型の保険証について、「有効期限まででは使えない」という正しい情報ががちちんと周知されないことから、国民の不安が煽られている現状を憂慮。また、マイナ保険証を持たない方が取り残されることのないよう、配慮が必要だとした。



佐々木議員



宗野議員



西岡議員



深作議員

医療を巡る諸課題に理解

◎宗野創議員

宗野議員(衆・立憲)との短時間の懇談で、協会から①保険証廃止、②長期収載品の選定療養化、③オンライン請求の猶予届が一部不受理となっていることの問題について端的に説明。宗野議員からは「資料をもとに勉強を重ねていきたい」とした。

低薬価政策「医薬品供給不安定の一因に」

◎西岡義高議員

西岡議員(衆・国民)は、長期収載品の選定療養化問

保険証発行停止は困ることも

◎深作ヘス議員

協会より、深作議員(衆・国民)に保険証存続の必要性を訴えたところ、12月2日以降に保険証を紛失してしまつと新規発行されないため、事実上マイナ保険証に一本化されることの問題提起がなされた。マイナ保険証推進の方針については「国民や医療現場の現状を鑑みて進めていくべき」と言及。医療情報サイトでの勤務経験があることから医療問題への関心は高いとし、協会との継続的な懇談を快諾した。

「論考」提言実る

ベースアップ評価料の届出が大幅に簡略化

初・再診回数を入力で自動作成

厚生労働省は1月10日付でベースアップ評価料の届出様式を簡略化する事務連絡を発出した。「外来・在宅ベースアップ評価料」のみを届け出る場合、直近1カ月間の初診・再診料の算定回数だけで、届出書類が作成できるようにした。

具体的には、1カ月間の初診・再診料の算定回数を調べ、ベースアップ評価料の算定金額を確認。基本給等に連動して引き上がる法定福利費(概算額16.5%)の事業主負担分の持ち出しが少なくなるように、ベースアップ評価料の算定金額を1:1.65で割り、対象

職員「全体」の賃金改善見込み額を設定する。対象職員個々の賃金改善見込み額を記載する必要はなく、対象職員の人数も記載する必要がない。

日本医師会は1月22日の定例記者会見で、長島常任理事がこの届出様式の大幅緩和を説明。変更内容のほかに、▽パートの対象職員も常勤換算した上で対象に含める、▽事務職員でも看

護補助などの患者サポートを通じて医療に従事する業務を行うものは対象職員に含める、▽賃金規定を見直し、「ベースアップ評価料」として支給すること等

の補足をしている。また令和6年度補正予算で、無床診療所1施設あたり18万円の給付金(生産性向上・職場環境整備等事業)が支給されることに触れ、ベースアップ評価料の算定が要件だと説き、ベースアップ評価料の2月中の届出を呼びかけている(参考: <https://www.wmed.or.jp/nichionline/article/012050.html>)。

当協会医療政策研究室は10月の「論考」第3弾で、「

ベースアップ評価料の届出が大幅に簡略化

初・再診回数を入力で自動作成

職員「全体」の賃金改善見込み額を設定する

日本医師会は1月22日の定例記者会見で

当協会医療政策研究室は10月の「論考」第3弾で

ベースアップ評価料の届出が大幅に簡略化

初・再診回数を入力で自動作成

12.19 イセザキ・モール宣伝行動

「保険証はまだ使えます」 使い続けて“復活”の気運高めよう

昨年12月19日、協会も加盟する「なくすな!保険証神奈川県連絡会」はイセザキ・モールにおいて宣伝行動を実施。同月2日に従来型保険証の新規発行停止を迎えてから初の実施となった。協会からは二村副理事長、藤田理事、鶴養監事、片岡・小柳両評議員が参加した。

リーフレット「12月2日以降の保険証のはなし」を折り込んだポケットティッシュを750個配布したほか、署名36筆を集約した。宣伝準備時から署名希望者が絶え間なく訪れ、すでにマイナ保険証を作ったという人からも「国のやり方は強引すぎる」、「高齢者への配慮がない」といった声が寄せられた。立ち止まって質問する通行人の姿も見られ、「今の保険証は有効期限まで使えるので捨てないで」と訴えた。



署名台に集まる人々

活動報告

quick reports

杏林往来

たEC(ヨーロッパ共同体)はEUとなり物流、国境の制限が取り払われた。通貨の発行も放棄した国が多い。国家、国民の利益より全体の規律が重んじられる印象を受ける。更に移民を一部の国を除いて際限なく受け入れた。治安が悪化している理由として、国家の伝統価値観、道徳が破壊されたからだとの見立てもある▼アメリカも同じような流れにある。バイデン大統領政権下では国境の壁が撤去され不法移民が急激に増えしまつたという主張もある。カルフオルニア州では950ドル以下の万引きは軽犯罪とし罪に問われることは殆どなくなった。またコロナ禍の影響もありSDはシヤッター街と化し治安は悪化している。トランプ大統領の圧勝と就任により、これらの問題は終わりを迎えるのだろうか▼しかし日本では、そういった問題が報道されることはあまりない。川口市ではクルド人が少女に性的暴行を加えても収監されず再犯するという事態や、犯罪・迷惑行為等の問題は改善されず、それどころか更に移民を受け入れようとしている。また厚労省は海外から医学士の無償受け入れを企てている。グローバリズム、新しい資本主義等の言葉を駆使するのみでなく、移民による諸問題への対処も必要だろうか。政府は移民や留学生のみならず、国民の可処分所得がしっかりと確保される予算の配分を考えてほしい。(R)

オンライン請求の猶予届出

「不受理」医療機関は一旦移行時期を記入し、再提出を

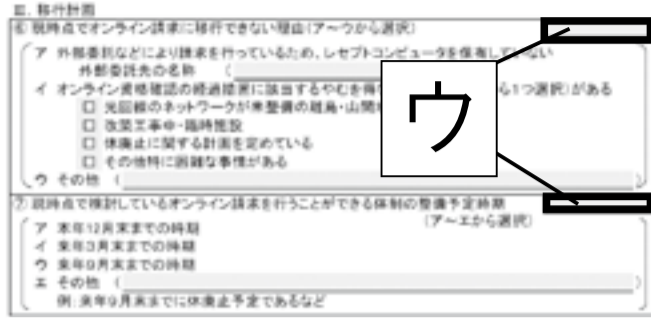
当協会会員も多く影響を
受けているオンライン請求

の猶予届出の不受理問題
で、昨年12月26日、保団連
は厚労省に「光ディスク等
での請求継続のため、猶予
届出の速やかな受理を求め
る」とした要請を実施した。

具体的な要請内容は▽光
ディスク等請求医療機関か
らの猶予届出の再提出要請
理由の追記を求めた。また
体制整備の予定時期の欄に
何も書かれていないものは
戻している(不受理)とし、
導入を目指している時期を
書いてほしい、2025年
9月末を選択すれば基本的
には受理しているとした。

さらに猶予届出は一年更
新であり、改めて理由・移
行予定時期等を記載し提出
すれば更新は可能。今回出
している届出をもって移行
未達の責任を問われるもの
ではないとした。

【オンライン請求の猶予届出を再提出する際のポイント】
⑥に「ウ」と記載すると、⑧以降の記載が必要となりますので、
実態に即し、「未実施」などとご記載ください。



厚労省は2023年3月
23日の医療保険部会で示
された「オンライン請求の割
合を100パーセントに近
づけていくためのロードマ
ップ」に基づき、医療機関
にオンライン請求への移行
をお願いしている立場だと
参加した。

研究部は12月28日、臨床
懇話会を協会会議室とWE
B併用で開催。横須賀市立
うわまち病院(2025年
3月1日から横須賀市立総
合医療センターに改称)・
副管理者・小児医療センタ
ー長の宮本朋幸氏が講演
し、68名が参加した。事後
抄録を掲載する。

事後抄録

臨床懇話会

大人への罹患が問題になる 小児感染症

宮本 朋幸氏

小児科は感染症との戦い
の診療科であったが、ワク
チンや治療法の発達により
様相が変わってきた。その
ような中で、小児のみの問
題だと思われてきた感染症
が成人にも影響を与えるこ
とが分かってきた。今回は
大人への罹患が問題になる
小児感染症として、講演を
行った。

肺炎球菌は市中肺炎の起
炎菌として約30%が検出さ
れるという報告があり、頻
度が高い感染症である。高
齢者の死亡率は9%以上と
高い。小児には定期接種と
してワクチンが接種され、
小児での侵襲性肺炎球菌感
染症は大幅に減少したが、
小児の保菌率は高く、それ
が高齢者に感染する可能性
がある。高齢者への肺炎球
菌ワクチンが推奨されてい
るにも関わらず、対象の人

口約20%しか接種してい
ないことは憂慮すべきで、
ワクチン接種の推奨をより
強く行っていくなければな
らぬ。
百日咳は、定点報告から
全数報告に変更されたこと
により、実は成人での感染
も多かったことが判明し
た。2024年の報告では
10歳から19歳までの感染が
最も多く、20歳以上の累計
も少なくない。65歳以上の死
亡数が9千800人という
報告があり、高齢者の死亡
原因として侮れない感染症
となっている。
この度、60歳以上の高齢
者に対するRSウイルス
ワクチンが認可されて
おり、予防効果が認められ
ている。高齢者は感染予防
と重症化予防のため、接種
をすることを推奨する。
小児の感染症で有名な麻
疹・風疹はワクチンの普及
のおかげで著明に減少し、
2024年11月現在、日本
全国で麻疹43人、風疹6人
となっており、小児科医で
ほとんど経験することの
ない感染症となっている。

理事会だより

第31期第26回理事会
12月12日(木)
〈役員30名、出席25名(うちWEB5名)〉
【議長報告】
昨今、オンライン義務不存
在確認訴訟、マイナ保険
証、薬剤の選定療養化、
医師偏在化に関する地域
別診療報酬、開業規制等
の医療をめぐる重要問題
が山積している。オン資
義務不存確認訴訟は、
東京地裁で敗訴してしま
ったが、控訴することが
決まった。

マイナ保険証問題は、
国民の関心が高く、保険
証存続の請願署名は17
万5千筆超が集約され
た。2025年7月の国
保及び後期高齢者保険証
の有効期限が切れる前に
更なる運動を行うことが
確認された。薬剤(長期
収載品)の選定療養化問
題では、横浜市薬剤師会
と協同して、会員医療機



宮本氏

郵送の場合は支払基金と国
保連合会への2カ所に提出
することになるので注意
いただきたい。
届出書郵送先
〒105-0004
東京都港区新橋2丁目1番3号
社会保険診療報酬支払基金
事業統括部事業サポート課
行



届出用紙は
こちら
から

〒220-0003
神奈川県横浜市西区楠町27番
地1
神奈川県国民健康保険団体連
合会

主張

エネルギー基本計画の 政府原案は再考を

原発「最大限活用」に疑問

「第7次エネルギー基
本計画」の政府原案(2
024年12月)は福島原
発事故への反省を捨て去
り、原発の危険性を黙殺
する姿勢へ大変貌した。
原子力発電の「依存度を
低減」する方針から「最
大限の活用」に切り替え
たのである。このような
基本計画は破棄し、再生
可能エネルギーに重点を
置いた新たな基本計画を
策定すべきである。

政府原案には原発の新
規建設、新型原子炉の開
発、火力発電の技術発展
などが盛り込まれた。し
かし、福島原発事故の反
省から方針転換した理由
は明確に示されていない。
2040年度の原発
発電コストは経産省の甘
い見積もりでも、太陽光
他、原発で培われた原子
力の側面をひた隠して
推進しようとする姿勢と
体制への疑念は払しょく
されぬままである。この
見直しでも、太陽光
の再生可能エネルギー比
率は40年度に40
%・50%とする目標が掲
げられた。しかしスペイ
ンは既に50%に達したこ
とを鑑みれば、政府目標
はあまりにも低い。スペ
インは気象情報の一元管
理化を通して再生可能エ
ネルギーを効率的に調
整・供給し、「最大限の活
用」をしている。AI技術
や蓄電池開発が進捗すれ
ば、再生可能エネルギー
の電力比率目標を80〜
100%に引き上げること
は夢物語ではないだろう。

よりの高額となる。放射
性廃棄物や福島第一原発
廃炉は今なお解決の道筋
が見えていない。地震大
国日本が原発依存度を高
める道理はなく、原発の
力関連技術は軍事転用が
できる。政府が平和的利
用を標榜しても、原発は
核兵器とセットとの不
信を拭いきれない人々も
いるだろう。

よりの高額となる。放射
性廃棄物や福島第一原発
廃炉は今なお解決の道筋
が見えていない。地震大
国日本が原発依存度を高
める道理はなく、原発の
力関連技術は軍事転用が
できる。政府が平和的利
用を標榜しても、原発は
核兵器とセットとの不
信を拭いきれない人々も
いるだろう。

今次歯科診療報酬改定等に関する会員アンケート

9割弱が「再改定を求める」 歯科の厳しい現状が鮮明に

歯科保険診療対策部は2024年6月の診療報酬改定等の影響を調査及び会員の声を集約するため、昨年10月にFAXアンケートを実施した。回答数は163件（回答率9.4%）。

【実施概要】

昨年10月18日から約1カ月間、FAX（QRコード付）送付及び保険医新聞（QRコード付）にて協力依頼対象：FAX登録のある会員1,728名
回答数：163件
（FAX回答78件・WEB回答85件）・回答率9.4%
回答者の属性について年齢は20代が30%、30代が39%、40代が18%、50代が32%、60代が28%、70歳以上が13%。開業年数は開業20年未満が47%、20年以上が51%。主な施設基準届出状況では、医情47%、医DX30%、外安全61%、外感染1が58%、口管強23%、歯援診25%、歯技工32%、ベースアップ評価料26%が既届出となっている。また、個人診療所が7割程度を占めており、医療法人は3割。回答医療機関における雇用状況の多くが、歯科医師1名・歯科衛生士0～2名・常勤助手1～3名・常勤歯科技工士0名となっている。

今次診療報酬改定は6回連続の実質マイナス改定となっている。今回アンケート結果では、今次改定の全体的な評価（図1）について「どちらかといえば悪かった」、「悪かった」が7割を占めており、さらに9割弱が「再改定を求める」と回答（図2）している。また、今回新設されたベースアップ評価料については6割の医療機関が評価しないと回答（図3）。回答者の55%賃上げが必要と考える中、賃上げを診療報酬で対応させようとする改定内容への不満の声が多く寄せられている。今回のアンケートでは疲弊した歯科医療機関の厳しい経営状況が改めて浮き彫りになった。

図1 歯科診療報酬改定の全体的評価

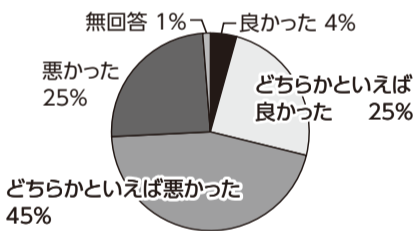


図2 初再診料引き上げや医療行為の評価を中心とした再改定を求めるか

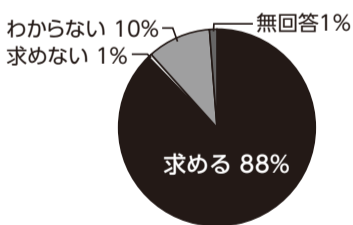
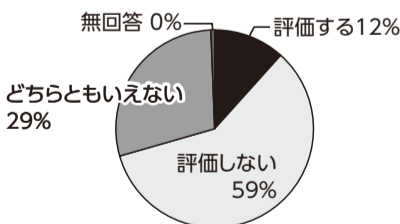


図3 ベースアップ評価料について



今次改定「良かった」はわずか4%

2024年6月診療報酬改定の全体的評価（図1）についての回答は、「良かった」4%、「どちらかといえば良かった」25%、「どちらかといえば悪かった」45%、「悪かった」25%であった。「どちらかといえば悪かった」、「悪かった」を合わせると70%に上る。回答者からは「複雑化してついていけない」、「臨床に即していない」といった意見も寄せられており、今次改定の複雑さが際立つ実情がうかがえる。さら

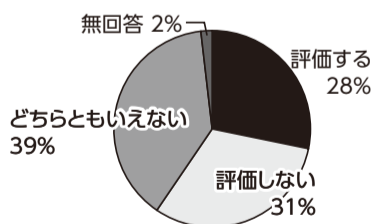
に「本来の診療報酬改定の意義を発揮できるよう、初再診料の引き上げや医療行為の評価を中心とした再改定を求めますか」（図2）に対しては、9割弱が「求める」と回答している。

今次改定で、医療スタッフの賃上げ対応として新設された歯科外来・在宅ベースアップ評価料については「評価しない」が6割弱を占めており、「評価する」は12%、「どちらともいえない」は29%となっている（図3）。一方で、職員への賃上げ対応については54%が「賃金を引き上げ」と回答している。ただし、「現状維持」は36%となっており、賃上げができない医療機関の状況が浮かび上がっている。ちなみにベースアップ評価料の未届医療機関のうち「賃金を引き上げ」と回答したのは46%、「現状維持」は43%となっている。

また、今次改定で院外歯科技工士の賃上げ対応として補綴関連点数が引き上がっている。これについては38%が「評価する」と回答しているが、37%が「どちらともいえない」と回答している。委託技工料については「現状維持」が7割を占めている。ただ、補綴関連点数の引き上げを「評価する」との回答のうち、「委託技工料を引き上げる」との回答は38%にとどまっており、委託技工料を引き上げるほどの補綴関連点数引き上げに至っていないことがうかがえる。回答者からは「（技工所からの）引き上げ提案も、現状維持」、「技工所が値上げをしてきた」等の意見が寄せられている。

今次改定の大きな特徴として、「か強診から口管強への再編・新設」、「FMC・前装MC・4/5冠・3/4冠の補管外し」が挙げられる。口管強新設については「評価する」が7%にとどまっており、「評価しない」は36%、「どちらともいえない」は50%となっている。口管強既届出医療機関に絞ると「評価しない」が53%を占めていて、か強診から口管強への再編・新設に伴い、研修要件の追加など施設基準に変更があったことが影響していると思われる。また、銀合金および金パラによる金属歯冠修復（単冠）の補管対象外しについて（図4）は「評価する」、「評価しない」、「どちらともいえない」で回答が分かれている。補管対象外となったことにより、2年以内の再製作・保険請求が可能となったこと、補管対象外とした財源が歯冠修復物の点数に回らなかったことなどが影響しているとみられる。

図4 金属歯冠修復(単冠)が補管対象外となったことについて



また、今次改定で医院経営に対してプラスの影響があると思う項目については、「初・再診料の引き上げ」、「CAD/CAM冠・インレーの適用拡大」、「ブリッジ支台歯の前装MCの適用拡大」等が多く挙げられている一方で、45%が「プラスの影響はほとんどない」と回答。さらに、マイナスの影響が出ると思う項目については「施設基準の複雑化」、「ブリッジ支台歯の4番、5番の前装MCの形成料が引き下げ」、「補管対象から金属冠（単冠）が外されたこと」が多く挙げられている。特に「施設基準の複雑化」については、今次改定で新設されたベースアップ評価料が念頭にあると思われる。

なお、今次改定に対して寄せられた意見は下記の通り。寄せられた意見や今回アンケート結果につい

ては、今後の診療報酬改善・不合理是正のための厚労省要請等に活用させていただく予定。

今次改定に対する評価・自由意見（一部抜粋）

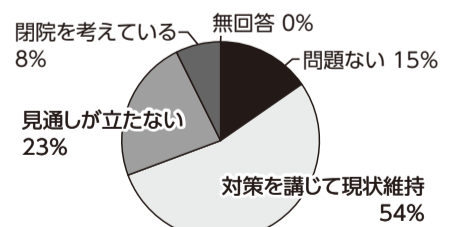
- ・補管を外した分が他の実用的な点数UPに繋がっていないと感じる。初再診料はもっと上げるべきだった。
- ・ベースアップは各医院が考えること。評価料という項目はいらぬ。初再診料を上げてほしい。
- ・とにかく施設基準が複雑。名称も長々と呪文みたい。もっと単純化してほしい。算定しやすくしてほしい。
- ・材料費が10～20%上がっているため保険点数も全体的に10%以上あげてほしい。
- ・衛生士の給与は20年前より1.5倍以上アップしているのに、保険点数は横ばい。今回に限らず、全体的に保険点数は物価に合わせ大幅なアップをすべきだと思う。
- ・物価高の上昇に保険点数が追いついていない点。家賃や電気代、水道代は容易に上げてくるが経費上昇分を患者さんに請求している訳でもないの…結果として医療従事者に負担がかかってしまっている。医療業界は自己犠牲で成り立っているような気がする。

収入「増えた」は2割にとどまる

アンケートでは、2023年6～8月（今次改定前）と2024年6～8月（改定後）の患者数・保険収入・自費収入の変化についても聞いた。いずれも「変わらない」、「減った」が8割を占めており、「増えた」は2割程度にとどまっている。患者数の変化については、「増えた」が20%にとどまる一方で「変わらない」が43%、「減った」が35%となった。保険収入の変化については、「増えた」が20%、「変わらない」、「減った」いずれも39%。自費収入の変化についても「増えた」は18%にとどまり、「変わらない」、「減った」はいずれも40%となっている。歯科医療機関の厳しい経営状況が鮮明となる結果になった。なお、同質問について口管強既届出医療機関（38件）に絞ってみると、「患者が増えた」26%、「保険収入が増えた」29%となり、口管強以外の医療機関よりも患者・保険収入が増えたとの回答が若干多くなっていることがうかがえる。

さらに今後の医院経営の見通しについて（図5）は「対策を講じて維持」が5割強を占めている。また、「見通しが立たない」、「閉院を考えている」を合わせると3割に及ぶ。その理由としては「物価高騰などによる経費増」、「年齢・体力的に厳しい」、「後継者がいない」、「スタッフを確保できない」の順で多くなっている。

図5 今後の経営の見通し



また、医院経営改善のために必要と考える国の制度として必要な対策は、「診療報酬の引き上げ」が多くなっている。医院として必要な対策は「経費節減」、「自費診療を増やす」等が多くなっている。今次改定はネットでマイナス0.12%で6回連続の実質マイナス改定となっている。回答者の多くが診療報酬の内容・点数ともに「再改定」を望んでいることが浮き彫りになる結果となった。

なくすな保険証！連絡会 法的視点から発信を 県弁護士会と懇談

協会も加盟する「なくすな保険証！神奈川県連絡会」は11月25日、神奈川県弁護士会館にて県弁護士会・情報問題対策委員会と懇談を行った。弁護士会からは、須須木担当副会長、松田委員長、森田委員が、連絡会からは神奈川労連、年金者組合、当協会事務局2名が参加。懇談は、弁護士会との共同の取り組みや法的視点での発信を求め連絡会から申し入れをしていたもの。



当日の様子

懇談では、全国で進む協会と地元弁護士会との連携や、都道府県弁護士会からの声明発出の動きなどを共有。12月2日が目前に迫る中、法的視点から保険証廃止の問題点を突く発信等を連絡会から要請した。弁護士会からは、「会内で様々な意見があり、丁寧な合意形成が必要」との事情が話され、今後については規模を広げての懇談や学習会開催の提案がされた。

循環器セミナー

むくみ(浮腫)をどう診るか

研究部は11月30日、第27回循環器セミナーを協会会議室とWEB併用で開催。今回は、メインテーマを「むくみ(浮腫)をどう診るか」とし、各演題の司会を青野豪氏が務め、医師、歯科医師、看護師など146名が参加した。講演1は「むくみの診方」をテーマに森壽生氏が講演。続いて講演2は「こわい深部静脈血栓症」について桑島政臣氏、講演3は「薬剤の副作用としての浮腫」について山本晴章氏、講演4は「浮腫の鑑別診断」について陳勁一氏、講演5は「心不全と下腿浮腫」について湯浅章平氏が講演した。



当日の様子

各講演ともに、診療の実体験や症例報告等を交えるなど、長年の実臨床経験に根差して解説。総合討論では、総合司会の山本典子氏を中心として、本講演に寄せられた参加者からの質問に回答し、本研究会におけるむくみ(浮腫)の治療について総括した。

神奈川糖尿病ネットワーク研究会 「時間栄養学」 “攻めの間食”・“8時間ダイエット”

研究部は12月11日に第55回神奈川糖尿病ネットワーク研究会をWEB開催。「肥満・糖尿病の栄養管理における時間栄養学の活用」をテーマに、広島大学大学院医系科学研究科准教授の田原優氏が講演し、116名が参加した。セブンイレブンで販売する「Cycle.me」の開発にも携わる田原氏より、「時間栄養学」の概要と日々の生活習慣・血糖コントロールに示唆を与える最新研究等を解説。「時間栄養学」とは、今までの栄養学になかった“いつ”食べるか？を考える学問であるといい、「体内時計」の特徴(時間の長さや朝型・夜型)は人それぞれ異なることから、「クロノタイプ診断」を通じて、自分に合った適切な食事や生活リズムを把握することが重要だとした。また、血糖値上昇を抑えるための計画的な「間食」のすすめや、1日の食事を8時間以内に摂取する「8時間ダイエット」を紹介した。



田原氏

※日々の食習慣改善に役立つ情報満載の講演の全貌はアーカイブ配信をご視聴いただきたい(右記QRコード)。



歯科保険診療セミナー

「口管強」届出を考える先生へ

歯科保険診療対策部は12月13日、2024年6月の診療報酬改定でかかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所(か強診)から移行した口腔管理体制強化加算(口管強)の届出に必要な施設基準等を解説する歯科保険診療セミナーを協会会議室、WEB併用で開催。講師は同部員の中島博樹氏が務め、86医療機関92名が参加した。



中島氏

口管強は患者の口腔内を長期・継続的に管理する医療機関を評価する点数。届出により、歯周病安定期治療(SPT)やフッ化物歯面塗布処置(F局)などの算定可能回数が未届出医療機関よりも増え、根面う蝕管理料(根C管)やエナメル質初期う蝕管理料(Ce管)などへの加算点数が算定できるなどの特例がある。中島氏は届出に必要な機材や治療実績などを説き、旧か強診の届出済医療機関は口管強も届出済とみなす経過措置が5月末までのため、6月以降の算定には新たな基準を満たした上で

quick reports

活動報告

事後抄録

歯科臨床研究会

保険診療における基本的な歯周外科 手術から再生療法、歯周形成手術まで

田村 利之氏

歯科研究部は11月7日、歯科臨床研究会「保険診療における基本的な歯周外科手術から再生療法、歯周形成手術まで」を協会会議室・WEB併用で開催。講師は田村利之氏(神奈川県立歯科大学附属横浜ク



田村氏

リニック 特任教授が務め、171名が参加した。事後抄録を掲載する。 歯周外科手術は、目的により1)組織付着療法、2)切除療法、3)歯周組織再生療法、4)歯周形成手術に分類される。近年保険診療において、歯周外科手術時の歯石除去と根面へのバイオモディファイケーションとしてレーザーが応用され、また、歯周組織再生療法としては、GTR法

に加え塩基性繊維芽細胞増殖因子の応用(リクロス歯科用液キット)が平成28年より保険適用となった。そして、令和6年度診療報酬改定においては、歯周外科手術(歯肉歯槽粘膜形成術)が見直され、根面露出に対する歯周形成手術として結合組織移植術が新設された。そこで、保険診療に適用される歯周外科手術についてまとめ、それぞれについて解説させていただいた。 (前述1)~(4)の手術につ

て、その適応症や注意事項に関して、日本歯周病学会のガイドラインを中心に、アメリカ歯周病学会コンセンサスレポートにも関連して解説させていただいた。また、各種手術に関するエビデンスは、発表されているレビューを中心に紹介させていただいた。そ

1) 骨縁下欠損に対しFGF 1-2を用いた歯周組織再生療法は有効である。 2) フラップ手術、SPT時の残存歯周ポケットに対するEr:YAGレーザーの応用は、従来の機械的手段と比較して効果的である。 3) 再生療法時の根面のバイオモディファイケーションは、必ずしもすぐれた臨床

的アウトカムを有さない。 4) 歯肉退縮に対する根面被覆手術は、歯肉弁歯冠側移動術+結合組織移植術がゴールドスタンダードである。 5) 根面被覆手術に際して、最大根面被覆の予測が重要であり、歯間部歯周組織の喪失状態、非う蝕性歯頸部病変の存在などが予後に影響を及ぼす。 今回の、歯周外科手術全般に

3月随時改定

鑄造用金パラ220円の引き上げ

3,010円/g→3,230円/gに



1月15日に中協総会が開催され、3月1日付の歯科用貴金属価格随時改定が承認された。歯科鑄造用金銀パラジウム合金(金12%以上JIS適合品)については7.3%の引き上げで、具体的には3千10円/gから3千230円/g(30g換算9万3000円)から9万6千900円)に引き上げられることになる(前々回9月随時改定は引き上げ、前回12月随時改定は引き下げ)。なお、銀合金・歯科鑄造用14カ

<別表>2025年3月1日の随時改定で告示価格が変更される品目

名称	2024年12月 (R6年) 随時改定 告示価格(円/g)	2025年3月 (R7年) 随時改定 告示価格(円/g)
歯科鑄造用14カラット金合金インレー用(JIS適合品)	10,390	11,136
歯科鑄造用14カラット金合金鉤用(JIS適合品)	9,081	9,827
歯科用14カラット金合金鉤用線(金58.33%以上)	9,176	9,922
歯科用14カラット合金用金ろう(JIS適合品)	9,165	9,911
歯科鑄造用金銀パラジウム合金(金12%以上JIS適合品)	3,010	3,230
歯科用金銀パラジウム合金ろう(金15%以上JIS適合品)	4,543	4,785
歯科鑄造用銀合金第1種(銀60%以上インジウム5%未満JIS適合品)	177	185
歯科鑄造用銀合金第2種(銀60%以上インジウム5%以上JIS適合品)	202	210
歯科用銀ろう(JIS適合品)	244	249

ラット金合金等も引き上がる(別表)。今回の随時改定については昨年10月12月の素材価格を参照しては、別表を参照した。詳細は今後掲載する予定。 照としたものになっていない。なお、今回随時改定に伴う歯冠修復・欠損補綴の関連点数改定の

JOY会

クリスマスリースを作ろう!

JOY会は12月12日、協着する方法で作成。2時間会議室にてクリスマスリースを作成していたが参加者皆が集中して打ち込み、70分ほどで全員が完成。同じ素材を使用して木のリウムを加工して木の実の配置が参加。全てドライ素材をえりリースを見せ合い、互いの感想を述べ合った。残り時間に講師に木の実の加工方法を教わった。

参加記 ひろがる笑顔

茅ヶ崎市 平田 澧子

酷暑の夏、そして残暑に閉口し涼風の待たれた十月半ば、「クリスマスリース作成体験教室」の記事をみて、参加申し込みをしました。

直径10センチほどのリースベースに、緑の檜葉をホンドに付け、時計周りに差し込んでいく。すると放射状のきれいなグリーンリースが出来た。

混雑した電車の中で壊れぬように、と持ち帰った「木の実」たち。「さあ出番です」と飾った待合室に、笑顔がひろがりました。



酷暑の夏、そして残暑に閉口し涼風の待たれた十月半ば、「クリスマスリース作成体験教室」の記事をみて、参加申し込みをしました。



個性豊かなリースを作成

多数の作品を批評 目が肥える写真教室



文化部は12月7日、協会会議室にて写真教室を開催した。会員など参加者7名は、旅先や日常で撮影した作品約70点を持ち寄った。講師の神原俊寿氏(「科会写真部」)はそれぞれの作品へレイアウトのコツなどを解説しつつ、協会会議室への展示作品などにアドバイスした。右写真は展示作品の一部。

GRAND MAISON PARIS

—包丁と鍋で作られ、皿に盛られた数々の料理—

鎌倉市 濱名 哲郎

シネマ者



「グランメゾン・パリ」

全国東宝系にて公開中
©2024映画『グランメゾン・パリ』製作委員会

テレビドラマ「グランメゾン東京」で描かれた日本での「三つ星」獲得から時が経ち、次はフランス料理の本場、パリの三つ星獲得への挑戦の物語となる。尾花夏樹(木村拓哉)と早見倫子(鈴木京香)は新店舗「グランメゾン・パリ」を立ち上げる。パリで二人はシェフとして、料理に取り掛かる前の食材集めでつまずく。キャビアの老舗で、売りの割り振り店はもう決まっていると言われ、肉も「自分の店に割りの振られたミートはこれだ」と、ショップのガラス越しに見える特上品との違いに、シェフ尾花は悔しさをにじませる。野菜でさえも同じマルシェですれ違う地元他店のものと明らかにレベルが違う。「フランス

人が東京築地でマグロを買ったら同じツナが回ってくのか?」とのフランス人とのやりとりをする姿は緊張感に満ちている。さらに調理のシーンは、三つ星をフランスで獲得している小林圭シェフが監修を行っている。都内にある小林シェフの店の厨房での勉強会は、木村拓哉と鈴木京香の厨房での動きや料理を作る更には受付時間の確認を怠り、10時10分までの受付時間なのに、我々は10時30分に駅に集合していました。受付の件は前夜に木村会長が気が付き、一人先に行き受付を済ませてくれて、クリア。

ランニング同好会 川崎国際駅伝に参加

ランニング同好会は12月8日川崎国際駅伝に8名、2チームで参加した。天気は快晴で気温は低く、絶好のランニング日和となった。結果は67チーム中64位と67位で両チーム完走。その

参加記 若手メンバーの 新たな参加に期待

横浜市戸塚区 佐藤 導直

久しぶりにランニング同好会の行事に参加させてください。しかし今回直前まで声をかけても当日に集まったのは7人。会場がだれか知りました。ハーフマソンの距離21・975kmを4人チームで走るには、計8人必要です。本日はさらに補

欠と監督の登録が必要で、誰か2区間走るかといった世の中、何とかなるもんだ

欠員は新井先生が知り合

と実感しました。溝ノ口の九州料理のお店でおいしいお酒も飲んで帰りました。

自分には久しぶりの参加でしたが、参加者は20数年前に熱心に行っていた当時の先生がほとんどでした。懐かしい仲間との楽しい時間

☆ランニング同好会にご興味のある先生は、ぜひご連絡ください(担当:小野 045・313・211)。

ときの視線を限りなく本物にしている。

シェフ小林の関与はストーリーのみにとどまらない。映画の中の厨房で出来る撮影は本場に見事な美しい。この料理の撮影にもシェフ小林の関与があり、並べられた料理がまるで絵画のように映る(写真で食べ物等を撮ることを、物撮りというらしい)。これら俳優の動きや料理の美しさは、この映画をまとめ上げた、ヒットメーカーである塚原あゆ子監督の効果的な演出により成し得たものと納得してしまう。一皿に盛り込まれる料理、「グランメゾン・パリ」のギャルソン、そしてシェフの熱気は撮影画面より噴き出している。最後に付け加えたい。

研究会案内

※研究会に会場参加の際は、マスク着用・手指の消毒等の感染症対策にご協力ください。また発熱症状等がある場合は参加をお控えください。 ※必ず事前にお申込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大や天災等により、急遽開催形式を変更または中止させていただく場合がございます。その場合は当会HP「いい医療ドットコム」にて適宜お知らせします。予めご承知お祈りします。

※協会行事においては、その模様を写真撮影し、記事とともに機関紙に掲載することがありますので予めご了承ください。

神奈川県保険医協会 Q 検索

WEB参加の申込みは、協会HP「いい医療ドットコム」のイベントカレンダーからできます。「神奈川県保険医協会」で検索を！

協会行事予定

2月10日～2月17日

- 2月10日(月) 地域医療学習会19時30分。総務部会19時30分。新聞部会19時30分。2月15日(土) 確定申告個別相談会14時。2月16日(日) 歯科新規指定医講習会9時。2月17日(月) 政策部会19時30分。新聞部会19時30分。編集会議19時。
- 2月11日(火・祝) 糖尿病セミナー13時。
- 2月12日(水) 中央支部研究会19時30分。学術部会19時30分。歯科研究会19時30分。2月17日(月) 政策部会19時30分。新聞部会19時30分。編集会議19時。
- 2月14日(金) 第28回理事会19時30分。

2月12日(水)

県央支部研究会

とき 2月12日(水)午後7時30分

ところ WEBライブ配信

テーマ 「保険証新規発行停止後—マイナ保険証をめぐる最新の情勢—」

講師 神奈川県保険医協会 事務局長 知念 哲氏

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み

お申込み 県央支部



2月14日(金)午後7時30分～

地域医療学習会

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「若年者の市販薬、およびカフェイン乱用の理解と対応」

講師 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦氏

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員50名

②WEB参加…下記QRコード

もしくは協会HPよりお申込み

※日医生涯教育講座CC「17(急性中毒)」1.0単位

【医籍番号の入力について(下記《重要》参照)】

お申込み 地域医療対策部



2月11日(火・祝)午後1時～

医師及びメディカルスタッフのための第41回糖尿病セミナー

ところ WEBライブ配信

メインテーマ 「糖尿病治療アップデート」

講演

①テーマ 「経口血糖降下薬—Additional Benefitsを見据えて—」

講師 北里大学医学部 糖尿病・内分泌代謝内科学 主任教授 宮塚 健氏

②テーマ 「大きな変貌を遂げようとしているインスリン治療戦略」

講師 東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝内分 泌内科 主任教授 西村 理明氏

参加費 1千円(※振込後の返金は致しかねます)

定員 1千名

参加方法 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み

※登録の際のメールアドレスは、キャリアメール(docomo等)ではなく、PCやAndroidなどのアドレスをおすすめします。

※登録完了後に自動返信メールが届かない場合は、メールアドレスの登録間違い等が考えられます。お手数ですが再度、ご登録ください。

※登録完了後、参加費をお早目に下記口座へお振込みください。通信欄に「事前登録者の氏名(複数の場合は全員分)」と「第41回糖尿病セミナー参加費」と記載し、振込人名(「事前登録者の氏名」の前に「A」を付記してください)(例)振込人名:41ホケンイタロウ。数字の付記がない場合、参加費の確認がとれない場合がございます。

※①神奈川県糖尿病療養指導士認定・更新のための研修会(2単位)、②日本糖尿病協会糖尿病認定医(登録歯科医)取得のための講習会、③日医生涯教育講座CC「76(糖尿病)」1.5単位【医籍番号の入力について(下記《重要》参照)】。

※KLCD E認定機構の規定変更により、第41回セミナーから単位数が2単位となりました。予めご了承ください。ご希望の方は、お早目に下記QRコードよりお申込みを。参加費は、セミナー終了1週間後を目安にメールでご送付予定です。

※日本糖尿病療養指導士認定・更新は、今回は認定対象外です。

※原則、遅刻・早退された場合は、参加証のデータ配布は致しかねます。ご了承ください。

共催 神奈川県保険医協会/ノボルディスクファーマ(株)

お申込み 研究部



2月26日(水)午後7時30分～

第631回月例研究会

今回は東京都健康長寿医療センター長の秋下雅弘先生をお招きし、ポリファーマシー対策のアップデートについてお話しいただきます。また、昨年発表された日本版抗コリン薬リスクスケールについても詳しく解説していただきます。

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「ポリファーマシー対策アップデート—日本版抗コリン薬リスクスケールを中心に—」

講師 東京都健康長寿医療センター センター長 秋下 雅弘氏

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員120名

②WEB参加…下記QRコード

もしくは協会HPよりお申込み

※日医生涯教育講座CC「73(慢性疾患、複合疾患の管理)」1.5単位

【医籍番号の入力について(下記《重要》参照)】

お申込み 研究部



2月16日(日)午前9時30分～

歯科・新規指定医講習会

開業した先生は開業1年後、厚生局が実施する行政指導「新規個別指導」を必ず受けなければなりません。対象カルテは10件、その他技工指示書など多くの関係文書等も持参する必要があります。指導結果は「概ね妥当」、「経過観察」、「再指導」で、「再指導」になると新規個別指導を受けなければならないポイントを再確認してみませんか。

ところ 協会会議室

テーマ 「歯科新規個別指導の対策講習会」

講師 歯科保険診療対策部 講師団

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

※これから新規個別指導を迎える方を対象とした講習会となります。

※当日、書籍「歯科保険診療の研究2024年6月版」を、持参ください(会員に送付しております)。

お申込み 歯科保険診療対策部

2月20日(木)午後7時30分～

相模原支部研究会

ところ プロミティふちのべ(A会議室)・WEB併用

テーマ 「神経発達症のこどもと家族支援」

講師 医 おぐち・こどもクリニック 小口 弘毅氏

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①プロミティふちのべ…定員30名

②WEB参加…お電話にてお申し込みください。

お申込み 相模原支部

2月20日(木)午後7時30分～

医療情報講演会

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「昨今のサイバー攻撃の実態とその背景について」

講師 横浜国立大学 大学院環境情報研究院 社会環境と情報部門 教授 吉岡 克成氏

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員80名

②WEB参加…下記QRコード

もしくは協会HPよりお申込み



研究会参加費について

特に記載のない研究会、講習会の参加費は無料です。参加費をいただく研究会は、電話でお申込みの上、郵便口座に参加費をお振込みください。尚、通信欄に①研究会名、②医療機関のご連絡先を必ずご記入ください。

郵便口座名 神奈川県保険医協会 口座番号 00260・2・2220

◆協会へお越しの皆様へ(お願い)

協会に駐車場はございません。ご自身で駐車場を確保いただくか、公共交通機関をご利用ください。

※QRコードは機内モードでの登録商標です。

会場参加のお申込み・お問合せは、協会事務局(Tel:045-313-2111)までご連絡ください